



これが私の

性春

です

墮ちるまでの一部始終

キャプテンのオナホに



ふふ...



お母さんめっちゃ
テンション上がってる...

〇〇駅

そうだ、そうだ...


お父さんにも報...



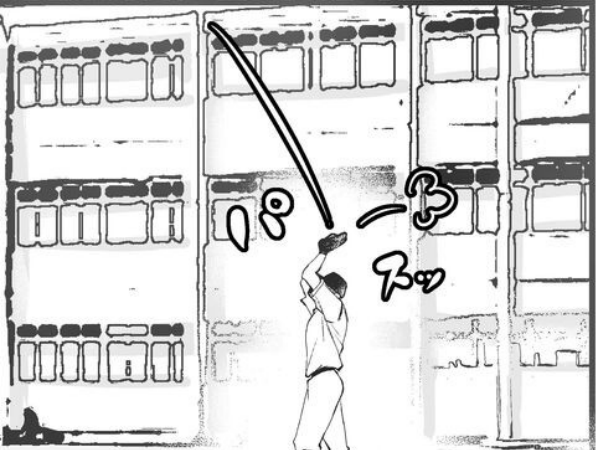
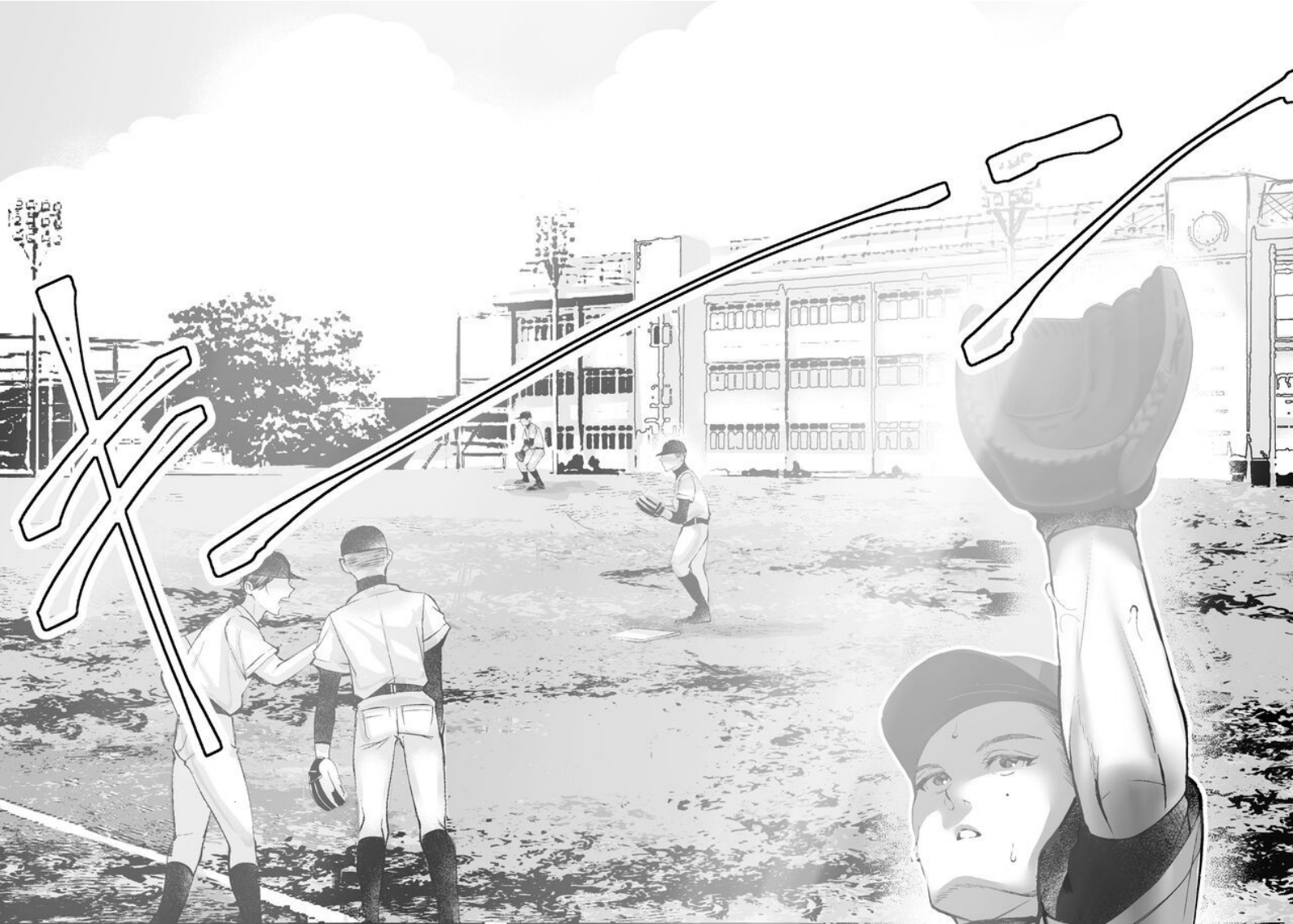
〇〇駅



ごめんお父さん…



それどころじゃないや…





先輩ね

はいはい
みたみた

ゆかもみてよお〜!



みちる球ひろえ!!

先輩今日もかつこいいっ…

はあ…



たまたま同じ高校にいた
運命の先輩ね

もう会えないかって
思ってたなら

電車でたまたま見かけて
一目惚れして



そこは別に運命じゃないでしょ!

しかも野球部のキャプテンと
マネージャー!!



カーン



漫画みたいなJKライフ

送るっきゃ

先輩とっつ!!



てか浅倉さあ…

上木の事ばっかみてるから
ボール避け損なうんだよ



呆心



だじょぶです
だじょぶです

大木末がくっ？

いぬさな〜…

平気がま〜？

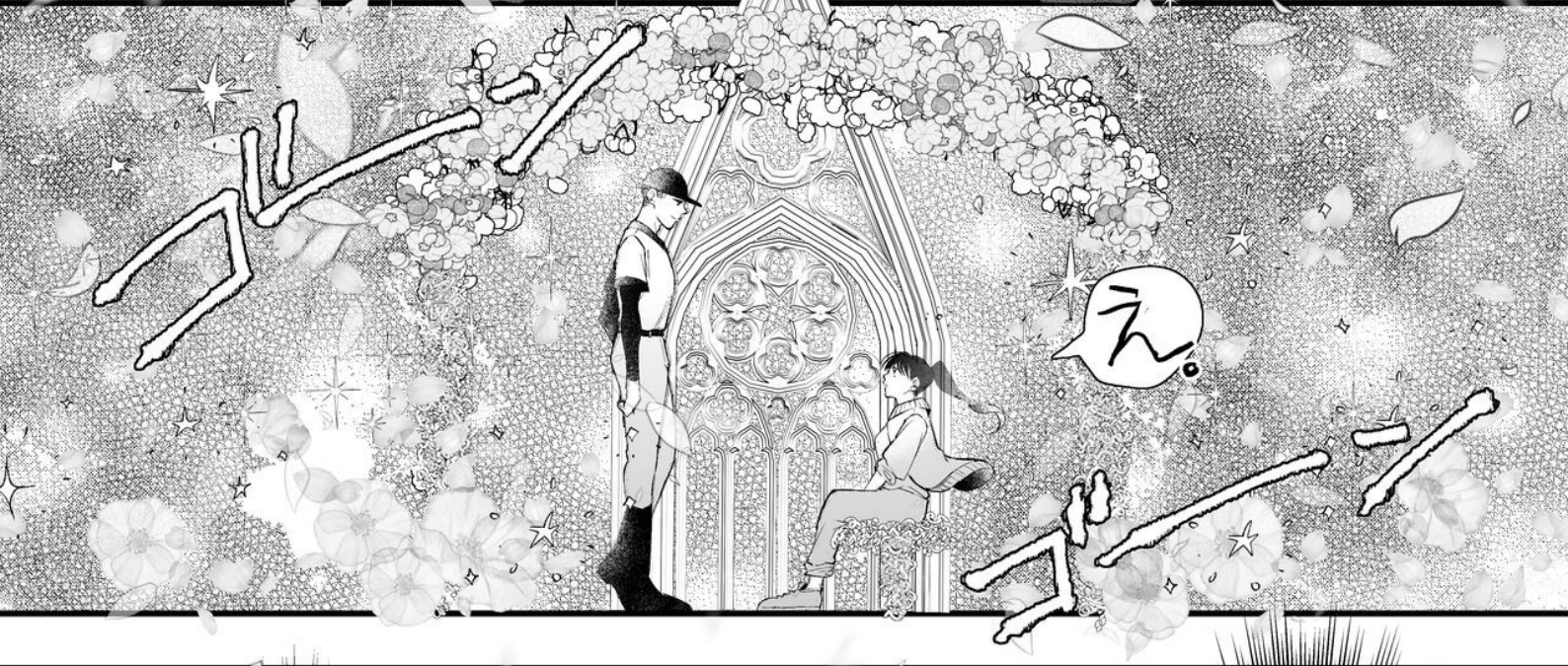


おい

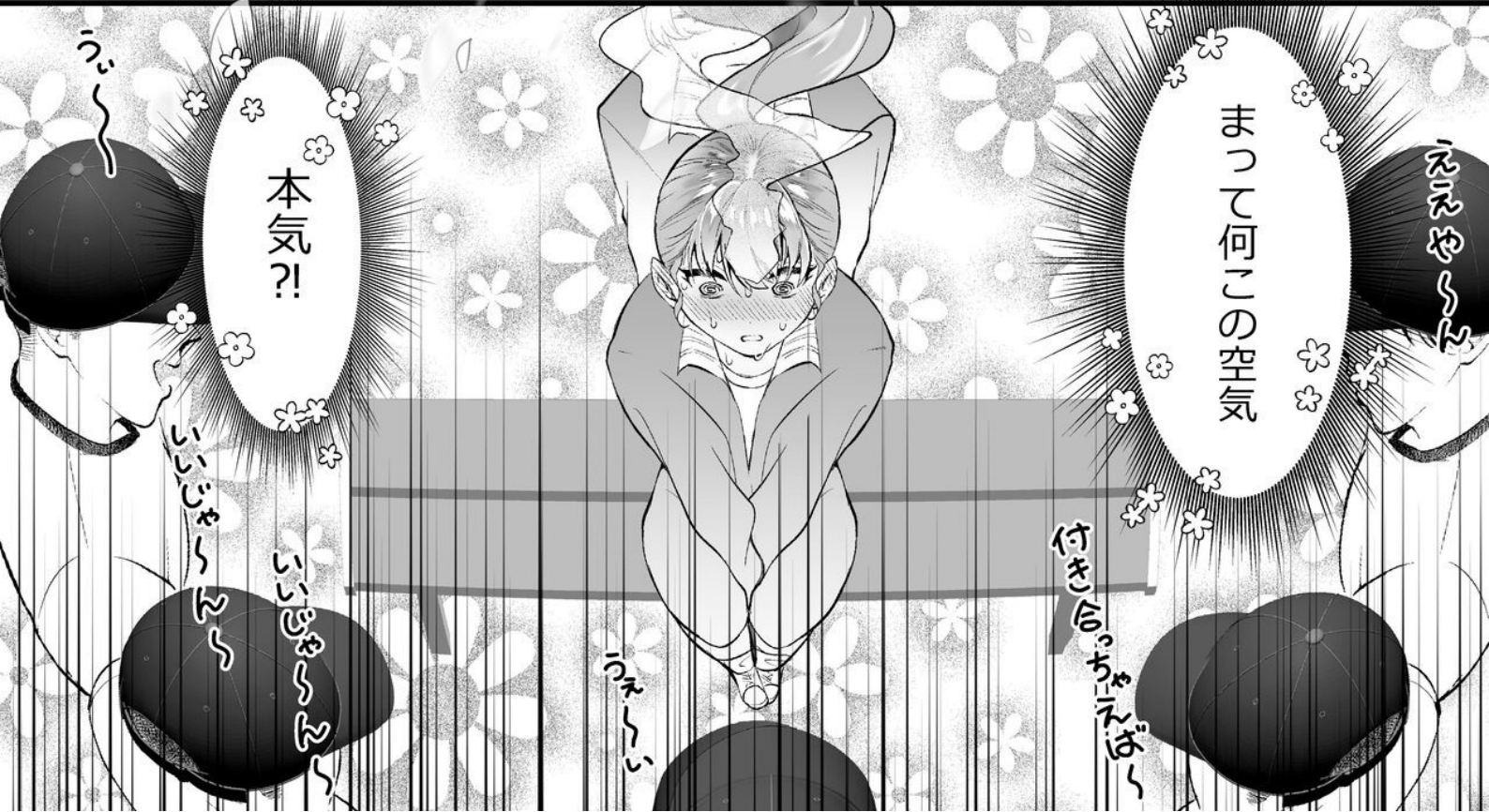
上木も分かってんだろ

付き合っちゃおう？

じゃあ、



え。



本気?!

まって何この空気

えええええ

付き合っちゃおうばー

いっしょに

いっしょに



これ…いけんじゃね…?!



バッティングセンターなんて久々だよ

誘ってくれてありがとね

いいえ!

先輩に私のバッティング

見てほしいなあ
なんてえ…

カバ
もつよ

すみませ



HERIN

Meather

GBL

WAGO



本当に？

見てほしいのは
バッテリーだけ？

そ、それは…

oqras jaur



あはは

な、なんですかその言い方！
イジワルじゃないですか！

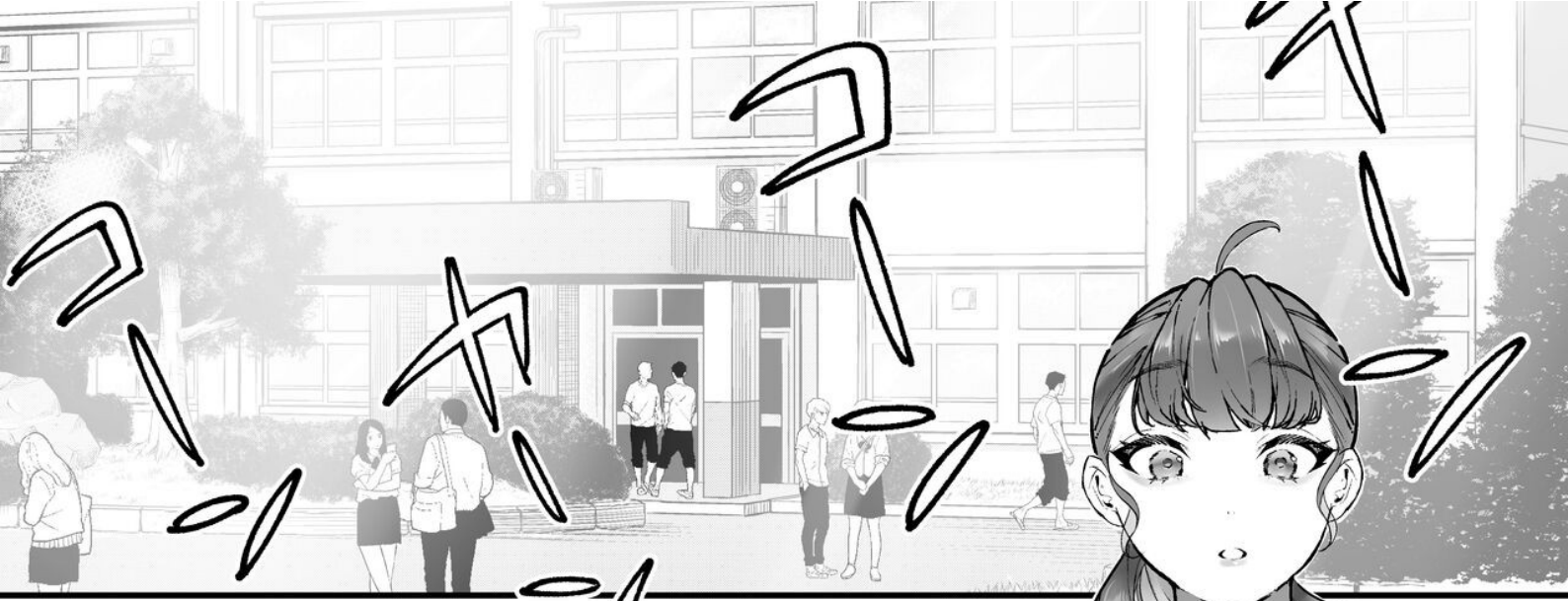
ごめんごめん

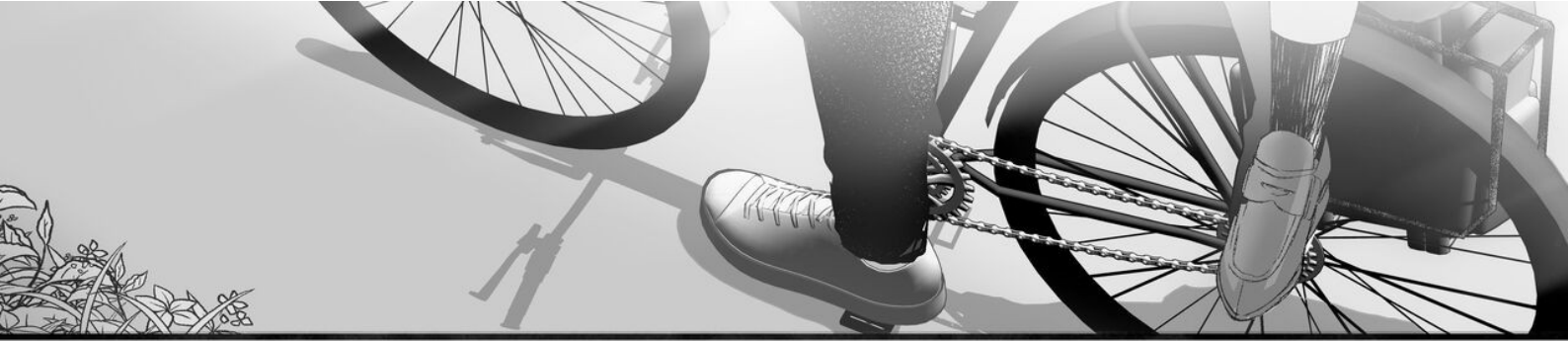
かわいい。



顔真っ赤









ありがとうございます
神様



私は



ああ……

生まれてきて良かった



かっこよくて

優しい

運命の先輩と

最高JKライフを

送ります……



なんか…
勘違い？
させちゃった…？

「いめん。」

「いめんなさ。」

…あ

浅倉には俺よりもっと
いい人いるよ……!





だって…
先輩の事少しでも
見れたらそれだけで



今からでも
ちゃんと告白しなっ

そうしないと前、
向けないでしょ……？

うん……





浅倉





好き



好きです!!



うん、ありがとう。



好きなんです!!

生まれて初めての
大好きなんです!!

私には先輩が必要なんです
初めて見た時から
絶対運命の相手なんです



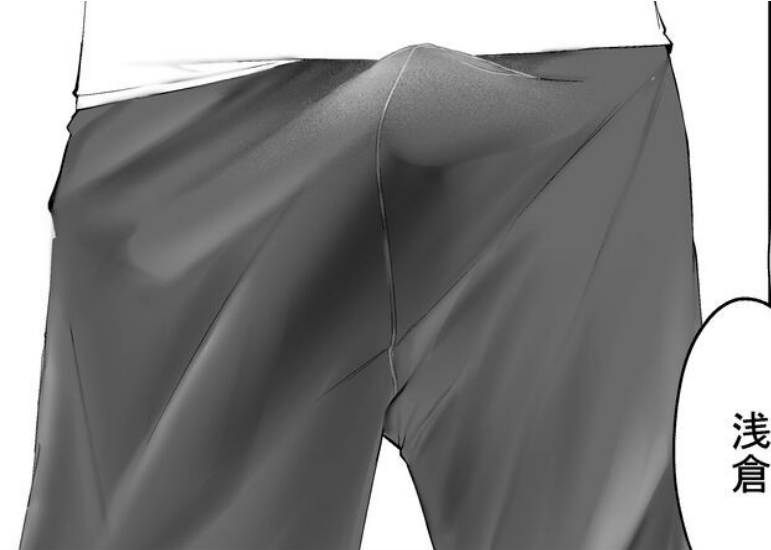
ハッ
ハッ
っ?!

なにし
私
先輩の

特別に
なりたい

少しでもそばにいたい:





浅倉





ああ...

おれさ
おれさ...



きもひいさふか

わひやひ

特別に

なれまふか

傍にいて

くれまふか



せんぱあいいい…





あのね...

しつこくてごめんだけど...



...はい。



みちっ



カチッ

先輩とちゃんと
付き合ってる...??

先輩とちゃんと
付き合ってる...??



みちる...

ズルッ

化学室

また明日……!



野球部室

なんの心配も……

準備室

いらないのに……



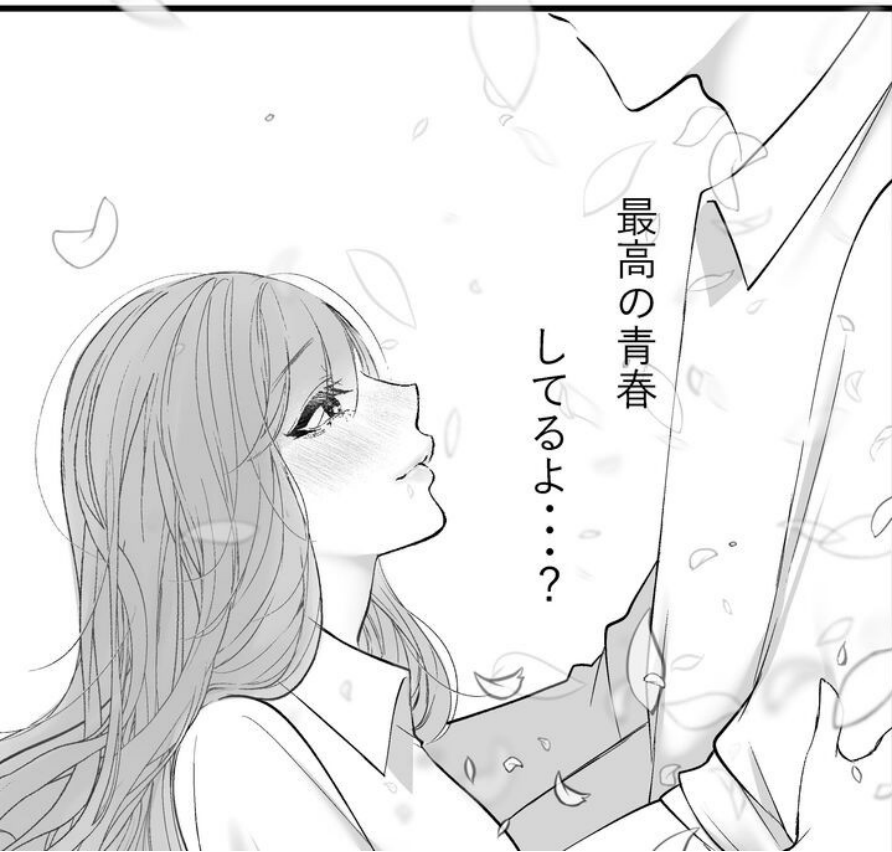
お疲れー

お、



こんなに

だって



最高の青春

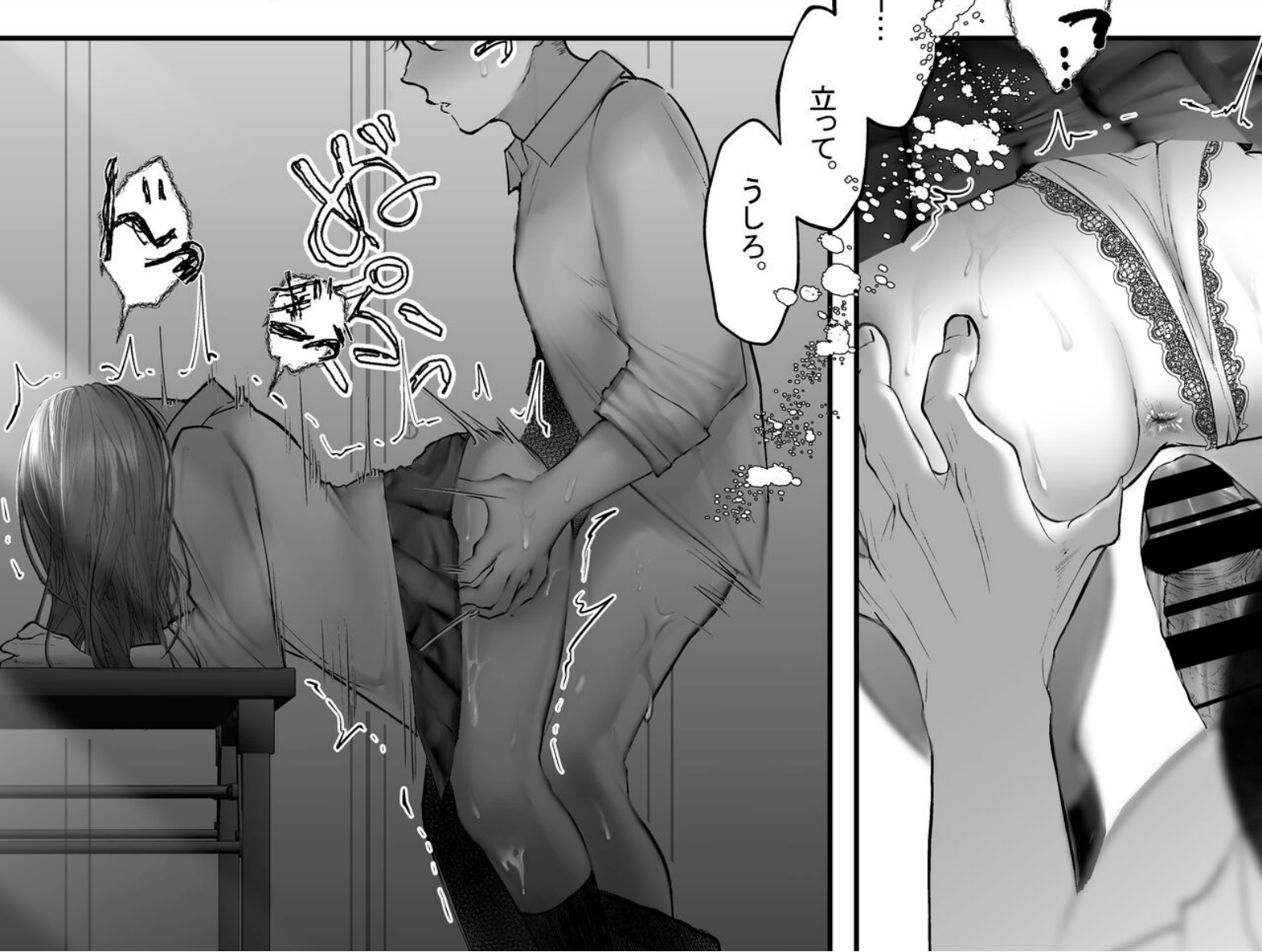
してるよ……？





あーい。

もっと強く吸って





ゆるい。

しめる。

ぷん。

ぷん。

はん

はん

はん

はん

はん

はん

はん

はん

はん



とっも



ふー



うしろ、
もういいや





集中出来ないから
黙って。





っはあ……!

気持ちいいだろ……



浅倉はイかないの……?



俺だけ先に

いつちやうよ……?







え

なにこいつ

は



大丈夫、
大丈夫です！

私もいきます！

追いついてしまってもいいかも！！！！

勢い余ってっ

ホー
狂

つぎ
て
や
か
る



壊れる!!

机ッ

ちよこ

部室でこれ以上はッ



追い付いたああ♡



っはあ…



ベグツツ

クワンミン…

もっと沢山練習して



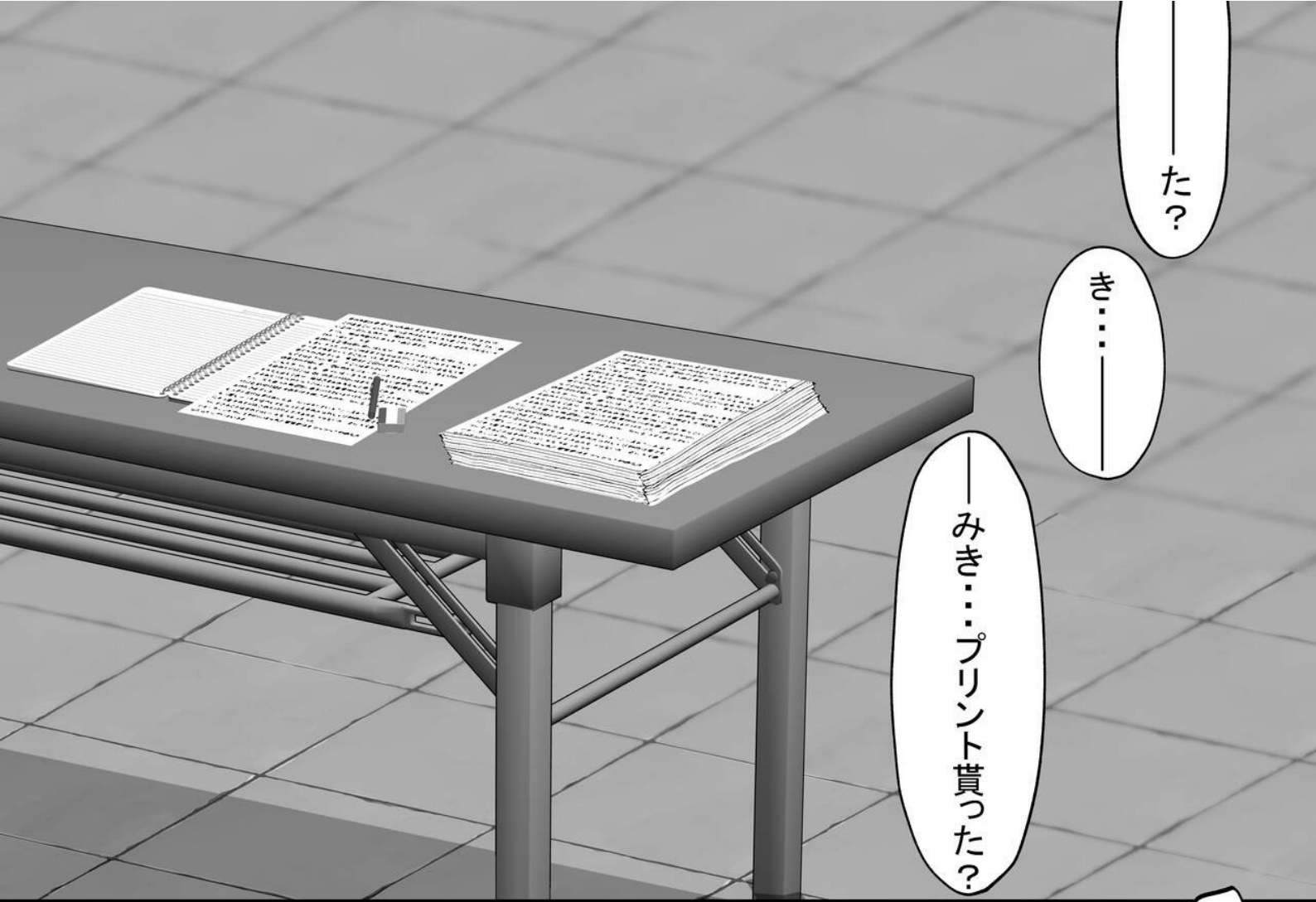
先輩っ♡

クワンミン…

最高の夏にしましょうね…

クワンミン…

クワンミン…



た？

き……

——みき……プリント貰った？



え……

あ……

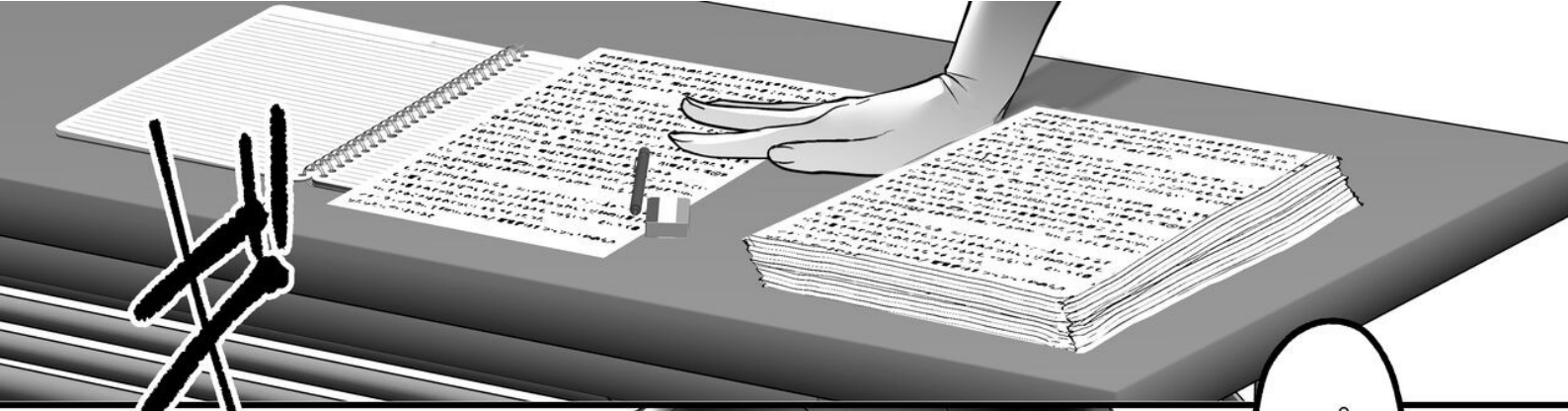
呼ばれてますよ？

先輩



上木！

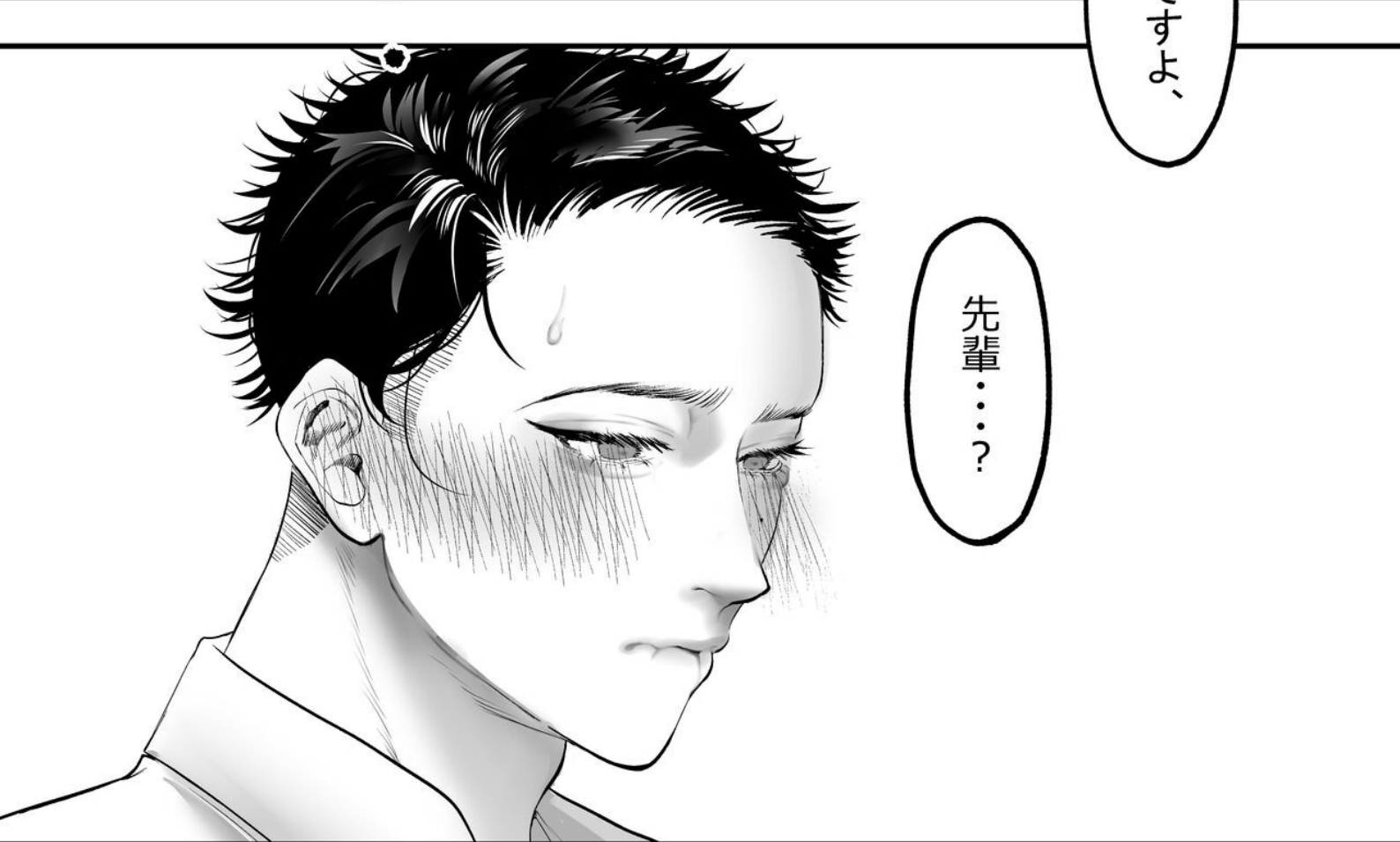
先輩
呼ばれてますよ？



プリント



「プリントもよ」



先輩……？

あとがき

今回光荣にもTHE猥談様にてご紹介されている体験談を基に、漫画を描かせて頂きました。
(終わり方等、改変が多いので、原作様要素のある別物としてお読み頂ければと思います。)

先輩とみちるの“理想”や“特別”、“運命”の見え方の違いについて
打ち合わせを重ねてやっと形になったのが本作になります。

付き合う事で、セックスする事で、
何を求めるのか、何に執着するのか...

歪んでドロドロとしたモノを感じて頂けたら幸いです。

ここまでお読み頂きありがとうございました。

藤本 宮
うかつ



中学3年の秋、電車で一目惚れした 野球部のセフレに成り下がるまでの一部始終

原案 - 柊彩さんからのTHE猥談

THE猥談

中学3年の秋
電車でどストライクの野球部坊主を見つけた。

私のタイプそのものだった。
大きな目に完璧な二重と綺麗な涙袋
クシャッと笑うとなくなる目と浮き出るシワ

彼のいる野球部に入部して、暇さえあればセカンドを守る先輩を目で追っていたから
すぐ他の部員や先輩にバレた。本人の耳に届くのも早かった。

映画やバッセンに二人で行ってチャリニケツして
これ付き合えるんじゃないか？めっちゃ青春！最高JKライフ！とか思ってたけどあっけなく振られた。
三振。スリーアウトチェンジ。

それでも好きでたまらない。先輩も知っている。
どうにかして先輩に、触れたかった。
特別な存在になりたかった私は、夏の遠征の夜、私の部屋にこっそり先輩を呼んで初めてを捧げた。

それからというもの先輩は私を求めてくれるようになった。

練習がおわりボールやバットを部庫に片付ける。
部庫で先輩は私の耳元で、「今日する？」と囁きバッティング手袋をした手でおしりを触ってくる。
「はい。」

部活が全て終わりもう夜の20時。
他の部員はそそくさと帰っていく。
先生も警備員も帰り、学校には誰もいない。

私はマネ室でジャージから制服に着替え、スカートを捲る。そして先輩のいる部室に向かう。

部活終わりの汗の匂いと制汗剤の混ざった匂いがする部室。そこに1人だけグローブを磨きながら座っている先輩がいる。

「お疲れ様です。」
「お、おつかれ〜」

私の一番好きな時間が始まる。
私は部室に一つだけある机の上に乗る
先輩は電気を消した。

慣れた手つきでスカートの下から手を入れてパンツを脱がせる。
指を入れられ、先輩の舌が私の中を掻き回し、もうビショビショ。

「もう濡れてるの？ここ部室だよ？変態だね」

そう言って大好きな笑顔で笑いかける
軽くイってる私を見てまた激しくいじる

机の上に足を広げて座ってる私の中に、
さっきまで部活で汗をかいていた先輩の生暖かい温もりが入ってくる。野球部の体力は半端ない。

力強く押し付けるように先輩の巨根が
私の奥に何度も何度も入ってくる。
パンパンパンパン…

街灯の明かりだけが差し込む薄暗い部室に響き渡る音。
さっきまでみんなが使っていた部室でこんなことをしている自分に興奮してまた濡れる。

「あ、もうイク。」

先輩がそう言って、私もほぼ同時にいき、部室セックスは終わる。

次の日、何も知らない他の部員が机を使っていて少しの罪悪感を覚えながら昨日のことを思い出して濡れる。

次はいつかになって毎日ドキドキしていたあの頃を思い出しながら、
卒業して数年たった今も大好きな先輩とのセックスを楽しんでいる。